

全国一斉 あそびの日 キャンペーン2008年

所子保育所 親子レクリエーション



ベルを使って楽しく3B体操をする親子
(大山青年の家)

5月20日、大山青年の家で所子保育所と保護者会が協力して親子レクリエーションを行い、親子で3B体操とパン焼き体験を楽しみました。

3B体操は今年の2月に保育所に指導にきていただいたことがきっかけで、「あそびの日」のキャンペーンをぜひ所子保育所の子どもたちにと、財団法人日本レクリエーション協会の方にきていただきました。子どもたちと家族やそこに集うみんながあそびを通してふれあい、ぎずなを深めることを目的として全国各地で展開された催しです。

まずは幼児教育課の尾崎栄養士



の指導でパン生地づくりをし、材料をビニール袋に入れて揉んだあと、発酵するまでの間に親子で3B体操を楽しみました。

保護者からは「子どもたちがこんなに喜ぶとは思わなかった」「3B体操がよく聞くけどやってみると楽しいものですね」などの感想が聞かれました。協会の方は「普段からリズム遊びを取り入れておられるので反応がいいですね」と感心した様子でした。

3B体操のあとはふくらんだパン生地を竹の棒に巻きつけて、おとうさん方の協力でできたかまどで子どもたちと一緒にくるくる回しながら焼きました。こんがり焼けたパンはとてもおいしく、親子のふれあいを十分に楽しんだ一日となりました。

バードウォッチング

大山保育所

愛鳥週間中の5月中旬、双眼鏡と水筒をもち、大山保育所年長児14人がバードウォッチングに出かけました。

自然を満喫しながら、目的の大山青年の家を目指して歩くこと一時間。

大山青年の家では、職員の方に夏鳥、留鳥などの鳥の種類や鳴き声の特徴などを教わり、森の中へ入りました。また、足元に咲く草花や樹木の名前を教わりながら、時折聞こえる小鳥の鳴き声に耳を澄ませ、双眼鏡でその姿を探し追う子どもたち。途中雨が降り、雨具を身につけて歩き、雨宿りしながら探検を続けました。短時間で雨は上がり、帰り道は雨に洗われた樹木の緑が一層美しく感じられました。帰る途中も小鳥の鳴き声が聞こえたり、姿が見えたりすると、素早く双眼鏡をのぞくバードウォッチングの姿が板についた子どもたちでした。

